北越コーポレーション株式会社

HOKUETSU
GROUP

Corporate Report 2019

コーポレートレポート

北越グループ
コーポレートレポート2019発行にあたり

本レポートは、当社グループの主要5事業を中心とした経営戦略や経営成績などの財務情報に加え、ESG（環境・社会・企業統治）情報などをまとめた「統合レポート」として、すべてのステークホルダーの皆さまとのコミュニケーションを深めることを目的に編集しております。
紙パルプ産業全体を通じて企業価値向上をめざす北越グループについて、多くのステークホルダーの皆さまにご理解いただければ幸いです。また、当社ウェブサイトでは、より網羅的かつ詳細な情報を掲載しております。あわせてご活用ください。

●報告対象組織
北越グループ（主要連結子会社ほか）

●報告対象期間
2018年4月1日～2019年3月31日（この期間以降の活動も一部記載しています）

●発行時期
2019年10月

●発行責任者
代表取締役社長CEO　岸本 哲夫

●お問い合わせ先
〒103-0021
東京都中央区日本橋本石町三丁目2番2号
北越コーポレーション株式会社 総務部
TEL 03-3245-4500
FAX 03-3245-4511
ホームページ www.hokuetsucorp.com

SDGsへの貢献

2015年の国連総会において「持続可能な開発のための2030アジェンダ（SDGs）」が採択されました。SDGsとは、あらゆる国と地域が、貧困や不平等、教育、環境など17の目標に169のターゲットを掲げ、より良い国際社会の実現をめざすものです。当社グループは、グループ企業理念やグループ行動規範の実践を通じ、SDGsに貢献いたします。



北越コーポレーション 穴水社有林（石川県）

目次

ステークホルダーの皆さまへ 4

北越グループがめざすもの
グループ企業理念 8
価値創造プロセス 10

価値創造の成長戦略と基盤
中期経営計画「V-DRIVE」 14
環境保全への取り組み 16
環境関連データ 18
研究開発と品質管理 20
原材料調達に関する取り組み 21
コーポレートガバナンス 24
コンプライアンス体制 26
人材マネジメント 27
CSR活動 28
社会との共生 29

価値創造の事業モデル
事業概況①：洋紙事業 32
事業概況②：白板紙事業 34
事業概況③：特殊紙事業 36
事業概況④：紙加工事業 38
事業概況⑤：パルプ事業 40

役員一覧 42

財務情報
連結財務ハイライト 44
財務レビュー 46
連結貸借対照表 48
連結損益計算書／連結包括利益計算書 50
連結キャッシュ・フロー計算書 51
連結株主資本等変動計算書 52

グループ会社一覧 54
株式情報 55
会社情報 56

事業環境の変化をチャンスに
進化と成長をめざします



代表取締役社長 CEO

岸本哲夫

Sekio Kishimoto
President and CEO

2018年度における日本経済は、おおむね安定した景気回復基調が底堅く推移しましたが、激化している米国と中国との貿易摩擦の影響などにより世界経済は減速し、日本経済においても製造業を中心に大きな影響を及ぼしはじめております。
また、国内紙パルプ産業については情報メディアの電子化による印刷・情報用紙の需要減少、物流経費や原燃料価格の高騰、社会構造の変化などの影響により、一段と厳しい事業環境になっております。

昨年、当社は新しい未来に向けて自らを変革していくことを宣言し、「北越コーポレーション」へ社名を変更するとともに、新たなグループ企業理念やグループ行動規範、グループシンボルなどを制定し、グローバル市場におけるグループ競争力を強化してまいりました。
また、当社グループは2020年を目標とする長期経営ビジョン「Vision 2020」のファイナルステージとして、中期経営計画「V-DRIVE」の目標達成に向けて経営戦略を着実に実行し、2019年3月期における当社グループの連結売上高は前期比2.5%増収の2,758億円となり、4期連続で過去最高を記録しました。2020年3月期の連結業績は、いずれも過去最高となる売上高2,850億円、営業利益165億円、経常利益180億円をめざし、5つのコア事業を主体に事業ポートフォリオの多角化などの経営戦略を実行しております。

まず、国内においては、戦略的に輸出を拡大し、過去最高となる年間約30万tを輸出いたしました。また、原燃料価格の高騰や物流経費の上昇などによるコストアップに対応するため、2019年1月より洋紙の価格改定を実施するとともに、国内印刷用紙の需給バランスの適正化を図るため、新潟工場6号抄紙機を2019年3月末をもって停機しました。その後、国内印刷用紙の供給量が極端に不足している事態に対応するため、他メーカーへのOEM供給を主体として2カ月に限定し6号抄紙機を再稼働しました。今後はすでに公表しているとおり、18億円を投資して6号抄紙機を改造し、食品やネット通販向けに需要の拡大が見込まれる段ボール原紙（中芯）事業に参入いたします。2019年7月から改造工事に着手しており、2020年には生産・販売をおこなう予定です。

海外においては、カナダのアルパックによるパルプ事業が引き続き当社グループの連結売上高と収益に大きく貢献しており、2020年度においても安定した業績が見込まれております。また、当社グループではフランスのデュマ、中国の江門星輝造紙および東拓(上海)電材、カナダのアルパックに続き新たな収益基盤を確立するため、2018年11月、中国浙江省長興県において30億円を投資し感熱紙事業をおこなうことを決定いたしました。中国国内ではeコマースの普及によって多種多様な商品の物流が年々増加し、商品配送用に使用されるラベル用感熱紙の需要が急拡大しており、紀州工場で原紙を生産し、当該工場で加工をおこなう計画です。現在、2020年の商業生産開始に向けて工場の建設を急ピッチで進めております。

当社グループは、国連が提唱するSDGs(持続可能な開発目標)の内容を踏まえ、国際規格ISO26000に準拠したCSR活動推進目標を定めて、継続的かつ実効性の高いCSR活動を展開しております。特に、環境経営については、日本経済新聞社が毎年実施している「企業の環境経営度調査」において、CO_2排出量の削減による温暖化対策や森林保全活動などの生物多様性対応、国際的なFSC®認証に適合した製品対策などが評価され、紙パルプ業界では3年連続で首位を獲得することができました。

新潟県長岡市の研究所では、新潟県工業技術総合研究所および国立大学法人長岡技術科学大学と共同で紙・パルプの新しい可能性に向けた研究開発を積極的に推進しております。さらに当社グループは、次世代素材であるセルロースナノファイバーと先端素材である炭素繊維を融合させた新しい複合材料を開発いたしました。すでに当社グループの北越東洋ファイバーで量産技術も確立しております。

当社グループは今後も、新しい知見や技術を既存の製品のみならず、新規商品の開発に活かしていくことでイノベーションを起こし、グループ競争力をさらに高めてまいります。また、国内事業の再強化と海外事業の拡大により事業ポートフォリオを多角化するとともに、これからもすべてのステークホルダーの皆さまからの信頼をもとに、次世代を見据えた進化と成長をめざしてまいります。

(北越コーポレーション FSCライセンスコード:FSC-C005497)

当社グループ10年間の成長の軌跡

主な財務・非財務情報における2009年3月期と2019年3月期との比較

連結売上高
1.5倍 ↗
182,782百万円 → 275,807百万円

営業利益
1.2倍 ↗
8,122百万円 → 10,130百万円

海外売上高比率
7.1倍 ↗
4.9% → 35.1%

連結子会社数
2.0倍 ↗
10社 → 20社

CO_2 排出量(※)
25%削減 ↘
864,573 t-CO_2 → 643,962 t-CO_2

森林管理面積
677倍 ↗
9,462 ha → 6,413,987 ha

連結従業員数
1.5倍 ↗
3,028名 → 4,714名

海外従業員比率
18%増加 ↗
0% → 18%

※ CO_2排出量は、事業拡大に伴い、10年前との比較が困難なため、当社単体を記載しております。

HOKUETSU
GROUP

グループ企業理念

私たちは人間本位の企業として、自然との共生のもと技術を高め
最高のものづくりによって、世界の人々の豊かな暮らしに貢献します。

As a people focused business group, we work to improve society globally,
by providing socially and environmentally responsible products through
innovative manufacturing on a global scale.

我们作为以人为本的企业，在与自然共生的基础上提升技术，
通过最佳的产品生产，为全世界人们的富足生活做贡献。

En tant que groupe d'entreprises axé sur les personnes, nous travaillons
afin d'améliorer la société à l'échelle mondiale, en fournissant des produits
socialement responsables et respectueux de l'environnement grâce à des
procédés de fabrication innovateurs.

「人間本位の企業」とは、
私たちの次のVisionを現しています。

- ステークホルダーとのつながり、信頼関係を大事にする企業
- 社員の幸せを追求する企業
- 人の多様性を尊重し、人を活かす企業

「自然との共生」とは、
原料から製品に至るまでの環境へのあらゆる
影響を最小限にとどめる「ミニマム・インパクト」の考えのもと、
自然と共生し、持続可能な社会を実現していくことを意図しております。

「技術を高め最高のものづくり」とは、
イノベーションを追求することを意味し、
技術力を高めることによって、お客様に最高のご満足をお届けできる
ものづくりを目指しています。

「自然との共生」、「技術を高め最高のものづくり」とは、
当社グループのValueであり、これらのValueを通してこれからも
「世界の人々の豊かな暮らしに貢献する」ことが、
当社グループのMissionです。

SDGsとのかかわり

世界の人々の豊かな暮らしに貢献するために

当社グループは、ステークホルダーの皆さまからの信頼と広範な資本を組み合わせ、
事業環境の変化に柔軟に対応し、リスクと機会の将来予測に基づいたビジネスモデルにより、
常に最大の価値を創造してまいります。

投入する経営資本

財務資本
格付
A-(R&I)*1

製造資本
設備投資額
160億円*2

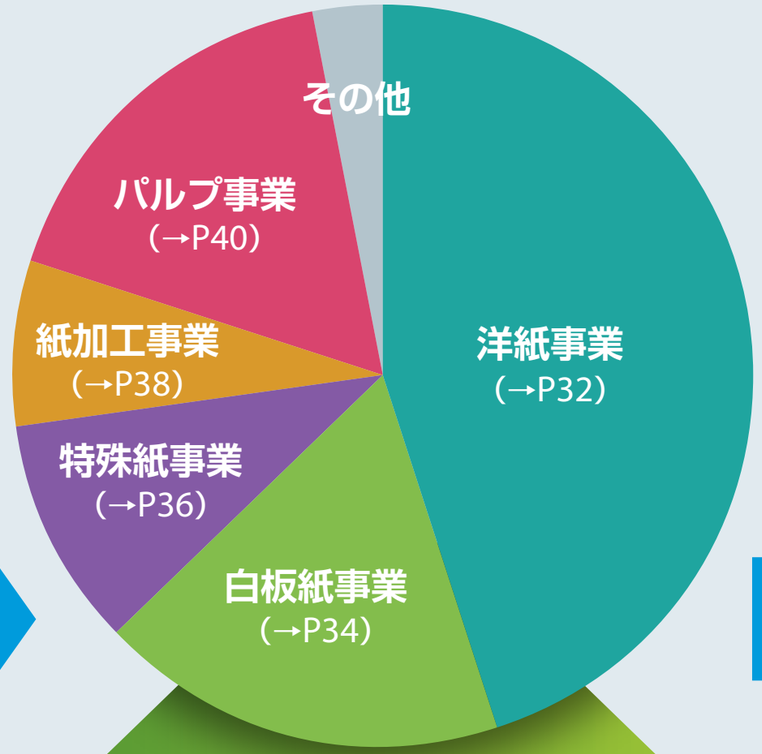
知的資本
特許448件*3
研究開発費7.8億円*4

人的資本
従業員数
4,714人*5

社会・関係資本
販売先国数
36か国*6

自然資本
環境保全投資額20.3億円*7
環境保全費用73.2億円*8

当社グループ 5つのコア事業
（2018年の売上高構成比）



あらゆる事業活動の根幹
グループ企業理念
(→P8)

- コンプライアンス (→P26)
- コーポレートガバナンス (→P24)
- 人材マネジメント (→P27)

成長戦略

- 中期経営計画「V-DRIVE」(→P14)
- CSR活動 (→P28)
- 環境保全への取り組み (→P16)
- 原材料調達に関する取り組み (→P21)
- 研究開発への取り組み (→P20)

成果と価値創造

- 連結売上高：275,807百万円
- 営業利益：10,130百万円
- 純利益：9,156百万円
- 海外売上高比率：35.1%
- CO_2 排出原単位：398CO_2kg/製品t

＊数字はいずれも2018年実績

- 事業環境の変化に対応し事業ポートフォリオを多角化
- グループ全体でSDGsへ貢献

成果の再投資

*1) 格付投資情報センター(R&I)による発行体格付(2019年4月11日)　*2)、*3)、*4)、*7)、*8) 2018年度の実績　*5)2019年3月31日現在(連結)　*6)2018年度の主な販売実績国